

国際シンポジウム「オープンサイエンスの潮流と図書館の役割」を 11月15日（火）に開催します。

国立国会図書館では、オープンサイエンスに対して積極的に取り組んでいる欧州研究図書館協会（LIBER）会長のクリスティーナ・ホルミア＝ポウタネン氏をお招きして、ヨーロッパの研究図書館や国立図書館の対応の現状をご講演いただきます。あわせて、日本国内でオープンサイエンスを先導する専門家が加わり、図書館が果たすべき役割等についてヨーロッパに学び、日本での在り方を考える鼎談を行います。

日 時 11月15日（火）14：00～16：30（13:30 開場）

会 場 国立国会図書館 東京本館 新館講堂

定 員 250名 ※事前申込制

参加費 無料

プログラム（同時通訳付き）

- ・ 講演 「ヨーロッパの研究図書館におけるオープンサイエンスへの取組について」
クリスティーナ・ホルミア＝ポウタネン氏
- ・ 講演 「オープンサイエンス推進の国際的枠組みと日本の近況」
村山泰啓氏
- ・ 鼎談 「オープンサイエンスの潮流と図書館の役割」
クリスティーナ・ホルミア＝ポウタネン氏
喜連川優氏
村山泰啓氏（※モデレータ）

申込方法

国立国会図書館ホームページの申込みフォームから11月14日（月）までにお申込みください。定員に達した時点で受付を終了します。

<http://www.ndl.go.jp/jp/event/events/20161115symposium.html>

お問合せ先

国立国会図書館 利用者サービス部 サービス企画課レファレンス係

TEL: 03-3581-2331（代） Email: sankiref@ndl.go.jp

<登壇者紹介>



クリスティーナ・ホルミア=ポウタネン氏
(Ms. Kristiina Hormia-Poutanen)

欧州研究図書館協会会長、フィンランド国立図書館
図書館ネットワークサービス部長



むらやまやすひろ
村山 泰啓氏

国立研究開発法人 情報通信研究機構
統合ビッグデータ研究センター研究統括



きつれがわまさる
喜連川 優氏

大学共同利用機関法人 情報・システム研究機構
国立情報学研究所長